

## パラメーターに関する文献調査

### 小型海藻 含水率

現地調査で見られた小型褐藻類の知見は乏しく、コンブやモク類など大型褐藻の知見も使えないため、現地で見られたモロイトグサなどを想定して、小型紅藻類を中心に文献を収集した。ただし、サンゴモ目など石灰質状の海藻は不適と考え、除外し平均化した値を採用した。

また文献値は乾燥重量比であるため、 $1 - 0.2 = 0.8$  で含水率は 80% とした。

表 1 小型海藻に関する文献調査

種	乾燥重量比	出典
マクサ	0.28	1. 秋元ら2017
サンゴモ目ウスカワカニノテ	0.61	1. 秋元ら2017
マクサ	0.278	2. 内村ら2003
マクサ	0.3109	3. 藤井ら1986
フダラク	0.1605	3. 藤井ら1986
カバノリ	0.1279	3. 藤井ら1986
スギノリ目カイノリ	0.2062	3. 藤井ら1986
コブソゾ	0.0924	3. 藤井ら1986
イギス目ハケサキノコギリヒバ	0.176	4. 環境省(2017)p246より算定
平均（ウスカワカニノテ除く）	$0.20 \pm 0.07$	

表 2 収集文献リスト

No.	文献名
1	秋元ら, 港湾構造物における炭素量を用いた生物現存量の定量評価の試み, Journal of Advanced Marine Science and Technology Society, 2017, Vol.23, no.1 pp37-45.
2	内村ら, 広島湾の岩礁性藻場をつくる海藻の現存量とその季節変化, 藻類Jpn. J. Phycol. 2003, 51:123-129.
3	藤井ら, クロアワビ稚貝に対する各種海藻の餌料効果, 長崎県水産試験場研究報告, 1986, 第12号, p19-25
4	環境省, 平成28年度モニタリングサイト1000 アマモ場・藻場 調査報告書, 2017, p246